

奥 教 学 第 8 号

令和 4 年 5 月 1 8 日

仁多地域幼稚園、小学校児童保護者の皆様

奥出雲町長 勝田 康則

仁多地域統合小学校建設地にかかる今後の予定などについて（情報提供）

平素は、奥出雲町行政に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和 4 年 3 月、町内 1 0 小学校全校区の小学校再編意向報告にて、仁多地域においては再編時期、統合小学校建設地は未定ながらも「子どもが学び合える環境（学級規模 2 0 人程度）を確保するための小学校再編」に同意をいただきました。

つきましては、仁多地域統合小学校建設地にかかる今後の予定などについて、下記の通りとしていますので情報提供します。

記

【 今後の予定 】

- ・令和 4 年 5 月 2 4 日（火）午後 7 時より仁多庁舎 4 階大会議室にて「仁多地域統合小学校建設地ミーティング」を開催します。仁多地域校区别協議会や町内関係団体から参加をいただき、仁多地域統合小学校建設地に対する意見を広く聴取します。

\*このミーティング内において、多数決等により建設地を決定することはありません。

- ・後日、改めて町として建設地を決定します。

【 建設地に係る主な経緯 】

令和 3 年 5 月	町総合教育会議で三成小学校敷地案を提案することに決定
	第 1 回校区别代表者会議にて三成小学校敷地案を提案
10 月	町議会において学校再編・再開発特別委員会設置
11 月	町商工会・町建設業協会から、三成小学校敷地案の見直しと三成市街地の町有地の有効活用を求めることを趣旨とした要望書提出
令和 4 年 3 月	町議会学校再編・再開発特別委員会から、建設地として「現仁多中学校の隣接地が最も妥当と判断した」と報告

【 現在の検討状況 】

裏面のとおり

町において三成小学校敷地を建設候補地として提案した流れ

- ・事前に教育魅力課において 5 つの候補地を挙げ、検討用資料を作成
- ・令和 3 年 5 月 1 8 日開催の町総合教育会議にて、検討用資料を基に協議

(以下、会議内発言要旨)

- ・まちの中で子どもの声が聞こえる環境がよい、現三成小敷地を基本として環境をさらに改善できるよう進めて欲しい
- ・奥出雲町をどうしていくかという視点とともに、子どもが大人に見守られながら、または子どもが大人を見ながら育つ環境が大事であるとの認識から、現三成小敷地案を基本に更なる環境整備を行って欲しい
- ・現三成小敷地で進めるならば、体育館建替え、敷地拡張、スクールバス導入等を含めて進めて欲しい
- ・町長が現三成小敷地案で提案したい旨を発言。体育館建替え、敷地拡張、スクールバス導入についてもできる限り対応することを補足し、全会一致で現三成小敷地案を提案することとした。

町議会 学校再編・再開発特別委員会報告【抜粋】

(2) 統合小学校の場所について

②仁多地域統合小学校

- ・横田地域と同様に令和 7 年 4 月統合を目指して取り組むことを第一として進めるべきと判断する。
- ・統合小学校の場所は、現三成小学校という意見もあったが、現仁多中学校の隣接地が最も妥当と判断した。

(理由)

- 1) 敷地造成に併せて仁多中学校のイエローゾーン（レッドゾーン）の解消工事を行うことができることから、仁多中学校の安全確保にも繋がること。
- 2) 保護者が課題として上げていたバス通学については、現奥出雲交通の路線で対応が可能であると同時に小中学校の通学の効率化が図られること。
- 3) 三成公園施設の活用により、教育機能の向上、条件改善が図られること。
- 4) 今後、検討課題となりうる小中一貫教育、義務教育学校などを受容できる施設にできること。

(3) 布勢小学校、三成小学校の安全対策について

仁多地域での統合規模と建設予定地が決定しだい、耐震化校舎で学べる環境を早期に実現することを第一として進めるべきである。

(対応方法)

- 1) 空き校舎での対応
  - 教室数や通学手段等の問題が早期に解決できるならば利用すべきである。
- 2) 仮設校舎での対応
  - 布勢小学校は、隣接地にリースで対応する。
  - 三成小学校は、現三成小学校のグラウンドにリースで対応する。
- 3) 耐震改修工事を実施することにより安全性を確保する。

\* いずれか早く対応できる方法で早期に児童の安全を確保すべきである

【お問い合わせ先】奥出雲町教育委員会 学校再編推進課

TEL : 52-2206 FAX : 52-3048

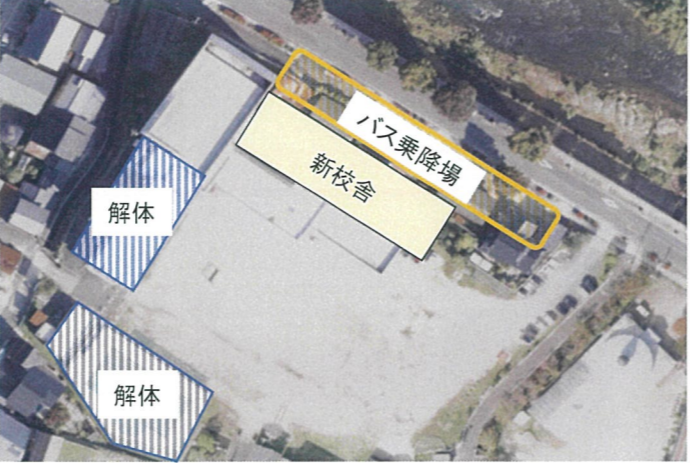
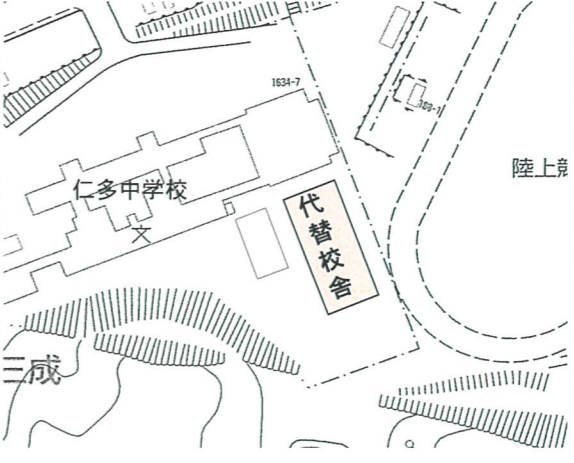
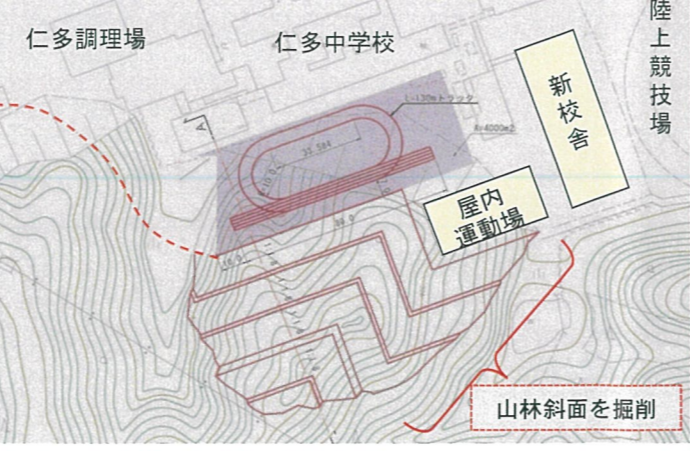

令和4年3月 町議会学校再編・再開発特別委員会報告を受けての比較資料

令和4年5月24日  
建設地ミーティング資料

●仁多地域統合小学校 ～新校舎建設地と三成小耐震代替校舎設置場所

※ 事業費は現時点の経済情勢等を考慮した概算額であり、今後、変動する可能性があります。

※ 建物の配置は、あくまでイメージであり、決定したものではありません。

	統合小学校校舎			三成小耐震代替校舎			その他関連経費	
	場 所	内容、内訳等	配置イメージ	場 所	内容、内訳等	配置イメージ		
①	三成小学校敷地	既設プール撤去、既存屋内運動場継続利用		仁多中学校隣接地	普通教室6室、特別支援教室2室、特別教室5室ほか2階建て(リース方式)		仁多中南側・土砂災害特別警戒区域対策費	2億円
		校舎整備費 17億2,100万円						
		移転補償費・バス乗降場整備費 2億円						
	校舎・プール解体費 1億4,100万円	概算事業費 (校舎整備)	20億6,200万円	概算事業費 (代替校舎)	2億5,000万円			
概算事業費 (校舎整備+代替校舎+その他関連経費)		25億1,200万円	※屋内運動場も改築の場合は、別途7億円程度かかる見込み					
②	仁多中学校隣接地	屋内運動場新設、法面掘削範囲を拡大し、現三成小と同規模の屋外運動場を設ける(L=130m、直線80m)		三成小学校校庭	普通教室6室ほか12室、2階建て(リース方式)		三成小校舎・プール解体費	1億4,100万円
		法面对策費 4億8,700万円						
		校舎整備費 17億2,100万円						
	屋内運動場建設費 6億6,000万円	概算事業費 (校舎整備)	28億6,800万円	概算事業費 (代替校舎)	1億3,500万円			
概算事業費 (校舎整備+代替校舎+その他関連経費)		31億4,400万円	※バス乗降場は、仁多中学校と同じ					

\* 両建設地とも、統合小学校開校は令和8年4月を予定